

「ゼミ対抗研究発表大会 2022」を1月21日（土）に開催 ～4年間の学びの集大成、今年のテーマは“水滴石穿”～ すいてきせきせん

武蔵大学（東京都練馬区／学長 高橋德行）は、学生団体武蔵大学ゼミナール連合会主催の「ゼミ対抗研究発表大会 2022」（以下、ゼミ大会）を2023年1月21日（土）に開催します。

「ゼミの武蔵」と呼ばれる所以のひとつでもあるゼミ大会は、学生により運営される経済学部の大イベントで、建学の理念である「自ら調べ自ら考える」を実践する学びの集大成の場です。単なる研究発表会ではなく、プレゼンテーションにより優勝をかけて対決する、学生たちの真剣勝負の場でもあります。また、経済学部の大会にも関わらず、運営には人文学部、社会学部の学生も参加しており、多様な視点が入り込んでいるのも特長のひとつです。今年のテーマは、「水滴石穿」、小さい力でも積み重なれば大きな力になるという四字熟語をゼミ活動に重ね合わせました。本大会は、広く武蔵のゼミの魅力を知っていただくため、今年度は一般に公開することとしました。

ゼミ大会の特長

1. 単なる研究発表会ではなく、プレゼンテーションで優勝をかけて真剣勝負する。
2. 教員だけではなく、実業界で活躍する卒業生が企業人の立場から審査、助言、指導を行う。
3. 論理一貫性、資料の明確さなど、社会人としても通用する力を意識した、明確な審査基準が設けられている。
4. チャレンジ枠があり、学生・学部を問わず全ての学生が参加する。

ゼミ大会の概要

■日時：2023年1月21日（土）13：00 開会（受付開始 12：00）※予約不要・入場無料

※新型コロナウイルス感染防止のため、マスク着用・検温・アルコール消毒にご協力をお願いいたします。

■タイムテーブル：

13：00～ 研究発表（発表会場は当日掲示）
（各ブロック4～5グループが参加、1グループあたり20分程度発表）

18：00～ 発表者懇親会及び表彰式
（8号館8階50周年記念ホール）
※発表者、審査員、関係者のみ入場可

■会場：武蔵大学 江古田キャンパス

■発表者：武蔵大学経済学部ゼミ生 6ブロック*26グループ、
チャレンジ(同窓会)枠 5グループ

（*6ブロック：経済金融A、経済金融B、金融会計、経営会計、経済、経営）



↑ゼミ大会の様子

武蔵大学ゼミナール連合会について

1961年（昭和36年）に発足した学生団体で、主にゼミ大会の企画・広報、協賛企業探し、当日の運営を行っている。ゼミ大会に備え、卒業生を講師に招いた「プレゼン講座」「講演会」などを行うほか、新入生向けゼミ紹介冊子の作成、様々なゼミ活動取材しTwitterで発信するなど、ゼミ活性化のための活動を幅広く行っている。

—報道関係者問い合わせ先—

武蔵大学 広報部

TEL:03-5984-3813 FAX:03-5984-3727 E-mail:pubg-r@sec.musashi.ac.jp

2022年4月17日、武蔵学園は創立100周年を迎えました

■ 武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス:西武池袋線「江古田駅」から徒歩6〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。一年次から4年間のゼミナール（小規模で対話型の授業を含む）が必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2012年には、外国語や異文化を楽しみながら学ぶことのできる国際村 Musashi Communication Village（通称 MCV）を開設、キャンパス内留学の拠点とした。

2020年3月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022年4月、学園創立100周年を迎えるこの年に、新学部となる国際教養学部を開設し、経済、人文、社会、国際教養の4学部9学科となった。

学長 高橋 徳行

〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1